

平成29年10月14日(土) 11時

# R.i.P. TOKYO

くすぐる

江古田斎場 第二会館二階(大悲堂)集合



定員：30名(要予約) お問い合わせ：050-5242-3821 参加費：1,000円  
<http://soupblanket.asia/riptokyo/2017oct14.html>

主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人指輪ホテル

東京スープとブランケット紀行  
Tokyo, Soup, Blanket and Travelogue

ARTS COUNCIL TOKYO

---

## Rest In Peace, Tokyo. Chapter 4 October 14th, 2017

昏睡状態五日目の明け方、彼女は生きるように死んだ。衰弱した皮袋のような薄っぺらい体から、そんな力がまだ残っていたのかという激しきで、彼女は吐血した。その口は、活火山の噴火口。まぶしいマグマを噴き出し絶命した。わたしは、返り血を浴びながら、「もつと静かに優しく消え入るように死へ向かってゆくものだと思っていたのに。」と、呟いた。彼女は「そんなことは《わたし》と《死》にしか、わからないことよ。」と答えた。「そうだろうか?」と、叫んだ時には、彼女はもう亡骸だった。彼女と死のあいだに横たわっている、それが何かを知りたくなってしまった。そして、あなたにも知らせたくなってしまった。そういえば、彼女の口癖は、「君に聞きたい。」だった。わたしはいつも「どうぞ。」と答えていた。